



和題

外国語学部 中国語学科 4年 大徳 弘志

●制作者より

この作品を作り始めたのが締め切り5日前だったので急ピッチで描き始めました。作品を応募するのは初めてだったのでてんやわんやでした。そのため原作はB4サイズの巨大なものとなってしまいました。画材のマッキーもなかなか色が出なかったり、重ね塗りをしたら色が変わってしまったり悔しいポイントも多々ありました。

芸術に評価とアンチは付き物です。今回は運良く評価のほうを頂きました。大変感謝しております。ただ、芸術というのは評価やアンチに左右されずただひたすら己の感性を信じ通すものなのだと私は思っております。直感と一緒に。人生で路頭に迷ったら直感を信じるのもまた一つの手です。そういう意味でも芸術は己の直感を磨きあげる作業なのかも知れません。